第316号
平成16年（2004年）4月1日

関西大学通信
THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学広報委員会
〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1121（代表）
http://www.kansai-u.ac.jp/

大学で自分探しの旅を

学長　河田　悌一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日から皆さんは、関西大学の学生として私たちの仲間の一人になられました。そうした意味から、今日、2004年4月1日は、新入生とご父母の皆さんにとってのみならず、また関西大学に所属する私たち教職員にとっても、記念すべき日であります。

新入生の皆さんは、年齢的にはまだ未成年の人が多数を占めるでしょうが、今日からはぜひ精神的には大人すなわち自立した人間になって欲しい、と思います。

これまで多くの皆さんは、大学に入ることを目的にした、受験のための勉強に精を出してこられました。しかし、大学ではもっと自由に、そして自発的、能動的に学ぶことが必要です。自分自身でさまざまなことに疑問を抱き、問題を見つけ、その解答を求める、という知的好奇心をもって欲しいのです。哲学者のアリストテレスは、こういっています。

「すべての人間は、生まれつき、知ることを欲する」

21世紀の現在、ときはいまグローバル化と情報化が日ごとに進展しています。そのような時代に生きる皆さんにとって、この関西大学での4年間は、皆さんの人生のなかで最も重要な時期に当たります。そうした状況のなかで、たとえば次の5つのことを関西大学で手に入れて卒業していただきたい、と思います。

まず第1は、幅広い教養とそれぞれの専門の学問的知識を修得すること。第2に、少なくとも外国語2カ国語は読み書き喋ることができるようになること。第3に、情報機器の使い方をきちんとマスターすること。第4に、できるだけ一生役立つ資格を取得すること。そして第5に、生涯の友と師をこの大学で手に入れること――。

しかしながら、これら5つを修得することは、簡単ではありません。皆さん一人ひとりが、強い意志と目的意識をもって大学生活を真剣に送らなければ、それらを手に入れることはできないでしょう。

そのような意味から、精神的に自立し、活力と良識をもった人になって欲しいのです。

最近、大学では、問い、調べ、考え、述べることを訓練するとともに、自分自身の生きる道を追求し発見する、キャリア・デザインという考え方が、普遍的になってきています。すなわち大学4年のあいだに自分の今後の人生設計を一歩一歩、形成していくということが求められているのです。

けれども、そのためには、この4年間にいろいろな経験を積むことが重要です。クラブ活動やサークル活動、アルバイト、企業や官庁や学校などで一定期間の実習をするインターンシップ、教育実習など……。

多くの本を読み、友人と一緒に、またときには一人で、旅することも大事です。

私自身の学生時代を振り返ってみても、1966年夏、大学3年生の夏休みに旅した中国大陸で「中国とはいかなる国か、その答えを一生涯かけてみつけよう」と考えたことが、現在の私の研究につながっています。学生時代の中国への旅は、私にとって自分探しの旅だったのです。

新入生の皆さんがこの関西大学で意欲的に学び、さまざまな人と出会い、「将来いかに生きるか」を真剣に考えてくださることを、心から希望しています。

と同時に、皆さんが関西大学で有意義な4年間をすごし、社会に貢献できる人間に成長していかれるよう、私は学長として最大限の応援をする所存です。

HEADLINE

2・3面　新役職者紹介・新任教員紹介
4・5面　**特集　ネットで広がる大学生活**
6面　新入生歓迎特別行事
7面　開設10周年記念企画展「関西大学博物館の名品」
8面　**特集　関大近郊おすすめスポット**

千里眼

満開の桜が、新入生を迎える季節が巡ってきた▼桜のサは、田の神のことを呼び、クラは神のよりつく所の座を古くは意味したことから、桜は穀霊が姿を現したものであり、その咲き具合が秋の実りを予兆する▼だから、花見というと桜を指すのは、桜の花の咲き方で、その年の稲が豊作になるかどうかを占った古い信仰によるものである▼桜の話の由来について多くの書物では、このような桜に対する信仰があったと記している。ところが、この説を最初に発表した折口信夫の「花の話」には、遠くから山の桜を眺めて、その花で稲の実りを占ったのだという仮説は記されているが、そこには具体的に桜で占いをしたことを裏付ける史料は引用されていない▼古代の人びとが、古木に神が宿ると考えたことには同意できるが、すべての桜の木を特別視していたのかどうかは漠然としている▼常識だと考えられていることも再検討すると、さまざまな疑問点が出てくることを、新入生は学んで欲しい。

（黒田　一充）

新情報化時代の舵取り

東村　高良
インフォメーションテクノロジーセンター所長

前身の「情報処理センター」所長を含めて、都合三度目の所長就任となる。

社会学部教授。専門は計量心理学で、コンピュータと多変量解析法を駆使しての心理テストの理論的解明と心理テストのコンピュータ診断法を研究している。学部および大学院ではコンピュータ関連科目を担当している。また、本学の前「情報処理センター」とのかかわりも約二十五年を超え、委員として、所長として重要な役割を果たしてきた。

前回の所長時代には、インターネットおよびマルチメディア利用環境の飛躍的な整備、そして全国の私立大学の中で率先しての衛星遠隔授業環境の整備など、本学にとって新しい情報化の時代を開いた。

さらに平成十六年度には、スーパーSINET」の新規接続拠点として選定された本学の、次世代のIT（インフォメーションテクノロジー）時代のさらなる発展に向けての新たな舵取りを大いに期待したい。

新役職者紹介

博物館刷新のいまこそ

高橋　隆博
博物館長

文学部教授。山形県生まれ。本学大学院史学専攻修了後、奈良県立美術館に勤め、平成元年本学に教員として復帰。

専門は日本・東アジアおよび東南アジアの美術工芸史、とくに漆芸史の第一人者。その豊かな学殖を買われ、文化庁・東京国立博物館の嘱託研究員を務め、アメリカのセーラム美術館・クリーブランド美術館、ハノイ歴史博物館、バンコック国立博物館などと博物館として関西大学博物館のリニューアルが求められる今、博物館長を任せられるのはこの人をおいてない。

文学部の付き合いも深い。豪放磊落な性格、飲めば酔うほどに饒舌、比喩の巧みさは天下一品。学生・大学院生には時に頑固親父、時に慈父として接し、信頼度抜群。文学部のプロジェクト文化遺産学の生みの親でもある。

国立大学の独立法人化を控え、各大学ともに個性の発揮に力を入れ、特に博物館は大学の品格を示すものとして、注目されている。老舗の大学博物館として関西大学博物館のリニューアルが求められる今、博物館長を任せられるのはこの人をおいてない。

大学人事

四月一日付で次のとおり昇任の発令があった。

▼法学部▲
教　授　小泉　良幸
〃　後藤　元伸
助教授　中野　徹也

▼文学部▲
教　授　柴田　一
〃　中田　行重
〃　山住　勝広
助教授　奥村佳代子

▼経済学部▲
教　授　秋岡　弘紀
助教授　工藤　教孝

▼商学部▲
教　授　中嶌　道靖
助教授　徳常　泰之
〃　長谷川　伸

▼社会学部▲
教　授　関口理久子
助教授　池内　裕美

▼総合情報学部▲
教　授　岡本　哲和
〃　亀井　克之
〃　久保田真弓
〃　田中　成典
〃　広兼　道幸
〃　小林　孝史
〃　北詰　恵一
助教授　竹下　博之
〃　橋寺　知子
〃　桝井　健
〃　西本　明生
〃　丸山　徹
専任講師　北川　俊光
〃　木下　智史
〃　久保　宏之
〃　島田　禮介
〃　滝川　敏明
〃　竹下　賢
〃　辰巳　直彦
〃　早川　徹
〃　藤田　久一
〃　村田　尚紀
〃　大和　正史

▼工学部▲
教　授　関　眞佐子
〃　宅間　正則
〃　山本　秀樹
助教授　北詰　恵一

四月一日付で法学部から法科大学院への移籍の発令があった。
教　授　山中　敬一
〃　石井　一正
〃　今西　康人
〃　亀田　健二

新任職員

総合情報学部事務室　高槻キャンパス事務室　藤井　久子
外国語教育研究機構事務室　中村　那子
法学部事務室　田島佐智子
文学部事務室　植中　健登
工学部事務室　前田　貴史
財務課　森　正義
施設課
エクステンション・リードセンター事務室　大上　良樹
法学部事務室　谷口　淳
大学院事務室　三浦　達也
高大連携推進事務室　川嶋　晋平
キャリアセンター事務室　間嶋あすか

学外資格単位認定制度がスタート

商学部

商学部では、平成十六年度より学生の勉学に対するモチベーションを高めるために、各種検定及び資格を取得した学生を対象に、二十単位を上限として専門教育科目の単位認定をする制度を実施することになった。

対象となる認定資格等は日本商工会議所主催簿記検定（一、二および三級、税理士試験科目合格、公認会計士第二次試験合格である。

また、この制度は新入生が入学前に取得した資格等についても認定することになっている。

人権問題の冊子を配布

人間はひとりひとりが異なる個性をもち、それぞれ自分に誇りをもって生きています。誰もが自分自身や家族や友人にとって、かけがえのない存在です。

しかし、残念ながら今でもなお出身・民族・障害・性などを理由とした差別は様々な形で存在します。

これらの問題を考えるための冊子『共に生きる』を配布します。読みやすい冊子にするために工夫をしています。新しく関西大学に来られたみなさん、ぜひ読んでください。

（人権問題委員会委員長・山内　修）

平成17年度交換派遣留学生の春募集について

今年度から交換派遣留学生の募集を年二回実施します（英語および中国語圏の大学は年二回応募することも可能）。この春募集のほか、認定留学、夏期語学セミナーに関する説明を次のとおり行います。

「春期留学ガイダンス」
日時：四月二十八日（水）十二時三十分から十四時
場所：尚文館一階マルチメディアAV大教室（千里山、TD一〇六教室（高槻）同時中継

外国語教育学研究科に初の修了者

三月二十三日（火）に学位記授与式が百周年記念会館で行われ、平成十四年に開設以来、外国語教育学研究科から初めての十一人の博士課程前期課程修了者が巣立った。

（学事課）

第315号訂正

本紙前号において誤植がありましたので、次のとおり訂正いたします。

＊第八面「関西大学この四年間」の大学院外国語教育研究科を大学院外国語教育学研究科に改めます。

新任教員紹介

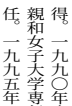
法学部

専任講師　上田　真二
平成十四年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程を学中に滋賀大学助手就任。本年四月に本学着任。専攻は会社法「インサイダー取引の民事救済」に関する論文等数編を発表。

専任講師　廣川　嘉裕
本年早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程を経て、本学に着任。専攻は行政学。福祉政策、非営利組織に関する論文等数編を発表。

専任講師　西　平等
平成十二年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程を終え、東京大学助手を経て本学に着任。専攻は国際法。戦間期の国際法の構想に関する論文等数編を発表。

文学部



教授　ジェイムズ　カーワン
一九六一年英国生まれ。一九八九年エディンバラ大学にて博士号取得。一九九〇年来日、神戸大学専任講師に就任。一九九五年より神戸市外国語大学助教授。専門は美学、批評史、文学理論。著書に『Literature Rhetoric Metaphysics・Literary Theory and Literary Aesthetics』（一九九〇）などがある。

教授　工藤　康弘
筑波大学大学院修了。三重大学教授から本学文学部へ。専門領域は十四世紀から十七世紀の初期新高ドイツ語で、目下この時代のドイツ語の日本で最初の辞書作りに奮闘中。

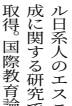
教授　澤井　茂夫
京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（学術）。イタリア・ルネサンス文化専攻。筆名繁男で、『ルネサンス』（岩波書店）他著・訳書多数。作家、医事・教育評論家でもある。

助教授　串崎　真志
昭和四十五年生まれ。総合研究大学院大学学博士後期課程中途退学。博士（人間科学）、臨床心理士。専攻は地域実践心理学。著書に『心理的支えに関する臨床心理学的研究』など。

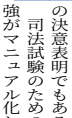
教授　森　隆男
兵庫県出身。昭和五十一年、本学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。尼崎市教育委員会を経て、着任。

専攻は民俗学で、住居空間と年中行事、通過儀礼などの関係を追及している。『住居空間の祭祀と儀礼』で、日本民族建築学会第一回奨励賞を受賞。

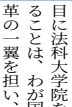
助教授　二階堂善弘
昭和三十七年、東京生まれ。東洋大学文学部卒業。早稲田大学大学院後期課程単位取得。東北大学助手、茨城大学助教授を経て着任。専門は中国の民間信仰と道教。著書多数。



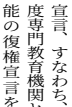
助教授　長谷　洋一
昭和六十年本学文学部哲学科美学美術史卒業。「近世仏像彫刻史の研究」で文学博士（本学）。著書『仏を刻む』（平成九年）。堺市博物館から本学へ。専門は日本仏像彫刻史。



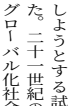
専任講師　小林　剛
佐世保市生まれ。東京大学大学院修士課程修了、同博士課程在学中にフルブライトでブラウン大学アメリカ研究学部博士課程に進み、所定単位修得後退学。専門はアメリカ文化研究。



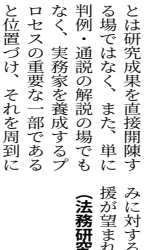
専任講師　堀　潤之
昭和五十一年東京生まれ。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程単位取得後退学。その間、パリ第三大学留学。専門は映画史・映像美学・表象文化論。主要著書は『ゴダール・映像・歴史』。



専任講師　安田　忠典
本学経済学部平成三年卒。その後大阪体育大学を経て二つの大学院で学ぶ。南方熊楠に共鳴。専攻の身体運動文化論を総合的に追及の予定。



専任講師　山ノ内裕子
昭和四十四年生まれ。九州大学大学院教育学研究科在籍中から学術振興会特別研究員。ブラジル日系人のエスニシティ形成に関する研究で学位博士取得。国際教育論などを担当。



法科大学院時代の専門職養成と大学の課題

法科大学院制度の創設は、わが国の法曹養成制度改革のなかで、戦後はじめての、まさに百年の大計ともいうべき大改革である。本学がこの重大な歴史の節目に法科大学院を発足させることは、わが国の司法改革の一翼を担い、その重責を果たす責務を負ったことを意味する。法科大学院の開校は、関西法律学校以来の法学部の伝統の上に、さらに新たな機能を担うことの決意表明でもある。

司法試験のための受験勉強がマニュアル化した予備校全盛の時代には、法学教育の理念が現実と乖離し、やがて変質してしまったかに思われる。法科大学院構想とは、法曹養成の理念を回復し、新たな制度を樹立しようとする試みであった。二十一世紀の法曹は、グローバル化社会において生起する複雑な諸々の問題に対処するべく、問題解決能力に優れた多様で創造的な法曹であるが、その育成は、法学教育の理念の復活宣言、すなわち、大学の高度専門教育機関としての機能の復権宣言を前提とする。それは、司法関係者はもとより、学生にも、法学教育に携わる者にも、そして、大学人にも重大な意識変革を迫るものである。

法科大学院の学生にとっては、職業としての法曹の資格を得るための知識と能力を駆使しうる実践理性を磨くのがその目標であることの自覚が求められる。従来の受験勉強の観念を捨てなければ、改革された新司法試験への合格は望めないであろう。教員には、講義とは研究成果を直接開陳する場ではなく、また、単に判例・通説の解説の場でもなく、実務家を養成するプロセスの重要な一部であると位置づけ、それを周到に準備した上で提供することが求められる。

本学は、設備・施設を整え、教員は講義準備の研究会を重ね、入学生を待ち構えている状態である。しかし、将来にわたって優秀な実務家を輩出しうる教育機関として不動の地位を得るには、不断の改革とそれを支える意識変革が必要である。組織改革による新たな制度に臨機応変に対処しうるシステムの樹立と、本学の全構成員の、新たなる試みに対する温かい理解と支援が望まれる。

（法務研究科長　山中　敬一）

経済学部

助教授　本西　泰三
身。兵庫県出身。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。長崎大学経済学部専任講師、助教授を経て本学に着任。東京大学博士（経済学）。専攻は経済政策。

専任講師　清水　崇

東京大学大学院経済学研究科修了。経済理論専攻。主要論文〝The Coordination Problem and the Social Information〟（博士論文）、〝A Theory of Money and Market Places〟（共著）。

専任講師　山本　千映

平成十三年、一橋大学大学院博士課程修了。英国経済史専攻。主な論文「十九世紀中期イングランドにおけるふたつの農業労働市場」（『社会経済史学』67(6)、平成十四年）。

社会学部

教授　水野由多加
昭和三十年大阪生まれ。慶應義塾大学文学部卒業、㈱電通に勤務後、青山学院大学大学院経営学研究科で学び、京都工芸繊維大学教授を経て本学へ。本学では「広告論」を担当。

助教授　間淵　領吾

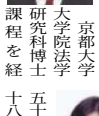
東京都出身。中央大学文学部卒業。中央大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学。奈良大学社会学部専任講師、助教授を経て本学に着任。専門は社会調査論。

教授　齊藤　正

昭和五十六年早稲田大学大学院博士課程前期修了。同年、日本電信電話公社に入社。本年四月、本学に着任。博士（工学）。専門は半導体光物性、光デバイス、プロセス。

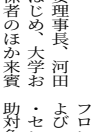
工学部

教授　江川　直樹
昭和四十九年早稲田大学建築学科卒業、五十一年同大学院修士課程修了。㈱現代計画研究所で主に集住環境設計に携わる。平成十三年度日本都市計画学会賞（計画設計賞）受賞ほか。

教授　田中　耕一

広島県生れ。昭和五十三年愛媛大学大学院工学研究科修士課程修了。愛媛大学から本学へ着任。専門は有機化学で有機超分子化学の分野で注目すべき研究成果を挙げている。

助手　牧平　憲治

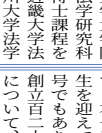
平成三年九州工業大学情報工学部卒業。平成五年同学情報工学研究科修了。同学マイクロ化総合技術センター助手を経て、本学に着任。工学博士。専門は半導体工学。

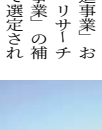
教授　田實　佳郎

東京都出身。昭和五十五年早大大学院応用物理修士課程修了。民間会社、高校教員、山形大工学部助教授を経て、本年本学に着任。理学博士。専門は物性物理工学。趣味は読書。

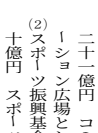
法科大学院

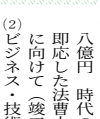
教授　小田八重子

大阪大学大学院法学研究科博士課程を経て、平成二年より静岡大学人文学部に奉職。専門はフランス労働法。六年にボルドー大学でD・E・Aを取得。著書は『国際社会法の研究』（信山社）など。

教授　川口　美貴

大阪大学大学院法学研究科博士課程を経て、平成五年より広島大学法学部に奉職。専門は行政法で、主として都市計画法制や景観法制について、ドイツと日本との比較研究を行っている。

教授　野呂　充

京都大学大学院法学研究科博士課程を経て、平成二十年本学法学部を卒業後、昭和五十五年司法試験合格、五十八年弁護士登録（大阪弁護士会）。専門は民事法。姫路獨協大学法学部の教授、本学の非常勤講師を務められるなど教育歴も豊富。

教授　若松　陽子

大阪大学法学部卒業。公務員を経て昭和五十五年司法試験合格、五十八年弁護士登録（大阪弁護士会）。専門は民事法。医療問題に関する研究で、平成十五年に大阪大学で博士（法学）の学位取得。

助教授　越山　和広

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程を経て、平成八年近畿大学法学部、十三年香川大学法学部に奉職。専門は民事訴訟法で、七年にフライブルク大学でDr.jur.の学位取得。

教授　室田源太郎

東京大学法学部を卒業後、昭和五十一年司法試験合格、五十四年検事任官。派遣法に基づく法務省からの派遣検察官。専門は刑事法で、司法修習生に対する捜査及び公判の実務教育指導なども担当。

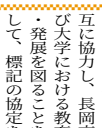
教授　木村　哲也

本学法学部を卒業後、昭和五十五年司法試験合格、五十八年弁護士登録（大阪弁護士会）。専門は情報法、民事法。姫路獨協大学法学部の教授、本学の非常勤講師を務められる年岡山家裁所長を最後に定年退官。専門は家事に関する財産法及び家族法。

商学部

教授　髙屋　定美

神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得後退学。専攻は国際金融論。『新版国際金融論』（共著、ミネルヴァ書房）、『欧州中央銀行の金融政策とユーロ』（共著、有斐閣）。

助教授　喜多　千草

京都大学大学院文学研究科現代文化学系二十世紀学専修博士後期課程学位取得修了。専攻は社会情報学・技術史学。主著『インターネットの思想史』（青土社、平成十五年）。

総合情報学部

教授　林　勲

昭和六十年大阪府立大学大学院工学研究科経営工学専攻修了、専門は認知情報学、著書に『ファジィニューラルネットワーク』（朝倉書店）等があり、日本知能情報ファジィ学会等の会員。

大学トピックス

●長岡京市教育委員会と連携協力に関する協定を締結

長岡京市教育委員会と相互に協力し、長岡京市および大学における教育の充実・発展を図ることを目的として、標記の協定を三月二十四日に締結した。今後、学校インターンシップ等の事業を展開していく。本学と地方自治体との連携協力に関する協定は、大阪府教委、神戸市教委、大阪市教委に続いて、四件目となる。

●「関西大学自己点検・評価委員会規程」の一部改正

平成十六年度以降、法令「学校教育法」で定められた第三者評価を受けるには、大学院の各研究科においても学部と同様に自己点検・評価委員会を設置し、各研究科単位での自己点検・評価を実施する必要があるため、標記規程の一部改正を行う。施行期日は平成十六年四月一日。

●大学院各研究科における「自己点検・評価委員会規程」の制定

前述の規程一部改正に関連し、大学院の各研究科単位で主体的な自己点検・評価を実施し、報告書を作成するため、現行の「関西大学大学院自己点検・評価委員会規程」を廃止し、大学院各研究科に「自己点検・評価委員会規程」を制定する。施行期日は平成十六年四月一日。

●大学関西フォーラム

「法人化時代の大学の行方」をテーマとした読売新聞大阪本社主催の標記フォーラムが三月二十六日、クラブ関西（大阪市北区）で開催された。前文部科学大臣、文部科学省顧問遠山敦子氏の基調講演とパネルディスカッションが行われ、河田悌一学長がパネリストとして参加した。

●在日エクアドル共和国大使表敬訪問

在日エクアドル共和国大使アドルフォ・アルバレス氏が三月四日に本学を訪問。河田悌一学長への表敬訪問や教育施設の見学を行った。昨年五月に続き二回目の訪問となる。

ネットワーキング研究センターが竣工

高槻キャンパスに建設された「ネットワーキング研究センター」の竣工式が三月十八日（木）に挙行され、羽間平安理事長、河田悌一学長をはじめ、大学および工事関係者のほか来賓を含め約百人が出席し、建物の完成を祝った。

同センターは、文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業において、「学術フロンティア推進事業」および「オープン・リサーチ・センター整備事業」の補助対象事業として選定されたことをうけ建設されたものであり、それぞれの研究プロジェクトにおける共同研究推進のため利用される存在として機能することが期待されている。

建物は地上三階建てで延床面積一、六四四㎡を有しており、プロジェクト室、客員研究室、外部共同研究員研究室、コラボレーション室等の充実した各種設備や最新の機器備品が備えられている。

今後、高槻キャンパスにおける情報学研究の中枢的存在として機能することが期待されている。

「文化フェスティバル」開催

4月16日～5月1日

今年も恒例の「文化フェスティバル」が四月十六日（金）から五月一日（土）まで開催される。文化フェスティバルとは、第1部文化会に所属している全団体が一堂に会し、本学の文化芸術活動の担い手として、文化会のいっそうの結束と、文化会内外にその日常の活動の成果をアピールすることをモットーに繰り広げられる一大イベントである。

今年のテーマは「燃焼系文化式」で、総合図書館前でのオープニングセレモニーをはじめ、総合図書館前、特別講堂での公演と、アートギャラリーやメインストリートでの展示など、各団体ごとに発表を行う。文化会全体の企画としては、文化会音楽系団体の合同演奏や、伝統芸能系クラブによる和のコラボレーションなどのイベントが予定されている。

（学生部）

スポーツ観戦で関大生を実感しよう！

学生部では、学生スポーツ文化の振興及び学内の活性化を目的にしたイベント「関大生を実感しよう！」を、本学体育会の試合で開催します。本年度は、体育会の中でも伝統と高い競技力があり、学生にも人気がある二種目を予定しています。

一つは、アメリカンフットボール対桃山学院大戦四月二十四日（土）15：00～、於千里山キャンパス中央グラウンド）を「2004年度新入生歓迎オリエンテーション」として、もう一つは、関西学生野球春季リーグ公式戦（五月三日、四日12：30～、於阪神甲子園球場）を「伝統の関関戦をみんなで盛り上げよう！」として、それぞれ開催しますので、本学学生、教職員は奮って参加願います。

なお、野球部の公式リーグ戦が四月から六月にかけて開催されます。こちらのほうも忘れずに応援してください。詳細は各学部事務室等の窓口に備え付けの日程表（チラシ）をご覧ください。

（学生部）

創立120周年――記念事業について

本学は平成十八年に創立百二十周年を迎えます。本号は、多数の新入生を迎えての年度初めの号でもあり、あらためて創立百二十周年記念事業について、紹介します。

記念事業計画の大要

1．学生文化の活性化に向けて

(1)総合学生会館の建設
二十一億円　コミュニケーション広場として

(2)スポーツ振興基金の設定
十億円　スポーツ王者・関大の復活を目指して

(3)奨学基金の充実
十億円　熱き向学心を支援して

2．教育の高度化・情報化のために

(1)法科大学院棟の建設
八億円　時代のニーズに即応した法曹大学院創設に向けて（竣工済）

(2)ビジネス・技術教育用インテリジェント施設の建設
八億円　経済学部、商学部の創立百周年事業の一環として

(3)高度情報教育施設の増築
八億円　高槻キャンパスの情報教育環境の改善・充実（竣工済）

3．教育環境の整備

キャンパスアメニティの整備
四億円　緑豊かで美しいキャンパスの創造

4．記念行事等

記念行事・記念式典の挙行、記念刊行物の出版、記念映画の製作
一億円
これら記念事業に必要な資金総額七十億円のうち、三十億円を募金目標額に掲げて、事業を進めているところです。

いうまでもなく、創立百二十周年を迎えることの意義は、この節目を過去への反省の機会とし、同時にその展望を切り開き、一層の飛躍をめざすことです。

新入生諸君は、創立百二十周年という二度とめぐってこない大きな節目の年に在籍することになります。その意味するところを十分理解し、一段と意義深い学生生活を送るとともに、本学の発展のため、共に考え、記念事業を盛り上げていただくことを切望する次第です。

（創立百二十周年記念事業局）

ネットで広がる大学生活

大学生にとってインターネットは今や必需品。友人や知人とのメールのやりとりや、授業の課題での調べものなどなど……。でも、ちょっとひとひねりした使い方で、より充実した毎日を過ごせたり、思いもかけぬキッカケで夢がかなったりする人がいるかと思えば、ネットを通じて全く新しい世界が開けたという人もいます。今回は、そんなネットならではという事例をいくつか紹介してもらいながら、インターネットから広がる学生生活の可能性をさぐってみましょう。

私のネット活用

夢(歌)を届けることができました

■「sony web starオーディション」

耳慣れないこのオーディションに私が最初に出会ったのは大学2年次生の梅雨時期も過ぎた初夏でした。社会学部のマス・コミュニケーション学専攻に入学した当初の私は音楽・スポーツ共に興味を持つアナウンサー志望の学生でした。しかし1年次生の冬頃から真剣にやり始めた歌の世界に少しずつ引き込まれていったのです。

ラジオのDJ時代に情報収集のため、利用することが多くなったインターネットで、このオーディションを見つけました。このオーディションは、自らが課題曲をダウンロードし手を加え、歌詞を施した上で評価される大変高度な技術を求めるものでした。知人の協力を得て作り上げたこの曲は、ソロシンガーSayakoとして初めて「I keep on trying」という一つの作品となりました。審査は第3次にまでわたり、第2次ではインターネットをフル活用した投票制度が用いられ、一般の人びとの意見をふまえた審査となりました。

SayakoのURL
http://www.h7.dion.ne.jp/~k-ta.jp/index.html

インターネットは私たちの身近な情報源であることはいうまでもありませんが、就職や論文の情報以外にもこういう使い方があることをぜひ知ってほしいです。私の夢見た20年間はあっという間に形を変えました。強く想い、願いつづけてきたことにまちがいはなく、諦めたわけでもありませんでした。でもそのとき私は歌うことが楽しくて仕方がなかったのです。伝えるという仕事につきたかったという意味では大差はないけれど、自分の言葉が、思うことがメロディーに乗って聞こえてくる感覚は言葉では言い表せないもので、鳥肌がたちます。

ほんの一瞬あのとき目に入ってきた文字が私の将来をこれほどまでに変えるとは、恐ろしいことです。いま私は曲を作り、歌詞を書き歌いつづけられることに心から喜びを感じています。

「自分には何もない」、そう考えている人がもしいるならば、伝えたい。自分が足を止めても何も起こらない。一歩ずつでも分かれ道があっても自分を信じて向かっていってほしい。その一瞬があなたをきっと変えてくれるはずだから。

社会学部 4年次生　杉元砂八子

私のネット活用

使わなきゃ損、自分の工夫次第！

■ネット活用術（過去～現在）

今回、新入生の皆さんがこれから関大生として生きていく上で役に立つありがたいネットの活用術を教えます。れレポートを書く場合、最も健全なやり方はそのテーマの関連書籍を読破し、自分なりにまとめあげていくという方法です。素晴らしい！　それに費やした時間に比例して達成感と自己陶酔に浸れます。人間は非効率なことに感動する生き物だからです。

ただ、これは時間がかかり過ぎます。情報化社会ではスピードが命です！　ここで言うスピードとは情報処理能力のことです。情報の完璧な理解より、要点を押さえていかにその情報を生かすことができるかが大切です。そこでネットの登場。世間には賢い人がゴマンといます。他の人の頭のよさをフルに利用しましょう。テーマに関連するHPの掲示板に質問を書き込んでおくと親切で暇な人が結構答えてくれます。また、copy&pasteで手当たり次第使えそうな文章を集めるだけ集めて、後から繋げたり削ったりして手直しします。ネットで文章を集めていると、バナー広告など全くテーマとは関係のないものが目に映ります。実はそこがミソで、意識してテーマと関係のないものを見ているとテーマの何かと関係のない何かが組み合わさって、全く新しい組み合わせのモノが閃く時があります。

この視点を日常生活に当てはめると発見は無限大に広がります。先日、私は独自の発見を使って、あるビジネスプランコンテストに応募しました。その結果、入賞して、賞金を手に入れ、パーティーでおいしいご馳走をいただきました。この発見はレポート作成時に閃いたものです。皆さんもどうせ勉強するなら単位以上のものを得るという考えで工夫して取り組むと面白いと思いますよ。

そもそも、私は関西大学商学部に起業家モデルのAO入試で入学しました。一般入試には予備校や通信講座といったサポート機関が整っていますが、AO入試にはサポート機関などはほとんどないに等しいのが現状です。私が受験してから2年もたっているのに状況は2年前と全く変わっていません。AO入試が広がりつつある中、これはチャンスです！　私は今ネット上にAO塾なるものを発足させる構想を練っています。同時にスタッフを募集しています。興味のある方はnaito@leto.eonet.ne.jpまで連絡下さい。起業に興味のある方など大歓迎です。来たれ、同志!!

商学部 2年次生　内藤　大悟

私のネット活用

全国に呼びかけて、「一緒」になった

劇団万絵巻のURL
http://www.edu.kutc.kansai-u.ac.jp/circle/yorozu/

■あなたの学生生活は充実していますか？

そう聞かれれば私はハイと答えるでしょう。なぜなら私は演劇サークル「万絵巻」で活動しているからです。今まで生きてきた中で演劇ほど自分の心を満たしてくれたものはありませんでした。いろんな人といろんな物語を演じ、共に笑ったり泣いたりするのです。演劇はTVドラマや映画と違い「ライブ感」に満ち溢れています。その場の空気、見る人と演じる人の一体感、そんな「一緒」が演劇の良い所です。

しかし、ライブであるが故に遠くの人が見に来ることは容易ではありません。遠くの人でも見に行きたいっ！　そんな気持ちを起こさせる何かが必要なのです。その何かを実現したのがインターネット上の有名FLASHサイト「偽与野区役所」でした。

そのサイトのFLASHムービーを演劇にしよう。そんな大胆な考えが、まさか全国の人の気持ちを動かすとは夢にも思っていませんでした。でも現実には多くの人が心動かされ、多くのお金と時間を使い、遠くからわざわざ見に来てくれることになったのです。もちろん「万絵巻」のHPに設置されているカウンターは今までにないほど回り、掲示板には激励の書き込みが多数よせられました。

偽与野区役所のURL
http://www.niseyono.com/

正直、怖かったです。でも、それが私にはうれしくてたまりませんでした。観てくださる方の「何か」になれればいい。どこにいてもなにをしていても、心に小さな灯火をともす者でありたい。そんな私の信念の灯火が少し大きくなった気がしました。

演劇に触れる機会はそう多いものではありません。0と1の情報世界にすぎないインターネットですが、そのグローバルな世界を生かして、このライブな演劇世界への懸け橋になれた。全国の人と「一緒」を感じる素晴らしさを実感できた…。

だから、新入生の皆さんも上手にインターネットという「今」を生かし、学生生活を充実したものにしていってください。

総合情報学部 2年次生　高峯　雅隆

私のネット活用

大学内どこでも利用し、情報ゲット

■利用目的に合わせて活用

インターネットには色々な活用方法がありますが、私がインターネットを利用する目的は情報収集が多いですね。例えば、1・2回生の時は一般教養のレポート作成のためにインターネットで資料を集めました。もちろん文献も読みましたが、自然科学や歴史などの分野はネット上に膨大な量の情報が掲載されているからレポートを書くには本当に便利です。

今はゼミのレポートのために資料を集めることが多いですね。よく利用するのは最高裁判所のサイト。法学部生には、判例検索は欠かせない作業なんです。

他には、1年次生の時の刑法の担当教授が講義レジュメを教室のテレビで学生に見せるという方法で授業を進めていたので、教授のHPから講義レジュメを自宅のパソコンにダウンロードして授業の復習に利用していました。

大学の授業関係以外では、趣味や遊びの情報を検索していま

す。例えば、コスメ用品の新製品チェック。メーカーやブランド名で検索して、色々な新製品をチェックしています。また、花火大会やクリスマスツリーのライトアップなど各種イベント情報を検索して、友達と遊びに行ったり彼氏とデートしたりと、色々楽しんでいます。

最近一番はまっていることは、バイキング。美味しくて安いお店探しに励んでいます。ランチバイキング担当、ケーキバイキング担当など、友達と分業すると、短時間で多くの情報収集ができて便利ですよ。そして、お腹いっぱい食べた後には皆でダイエット術の検索（笑）。

私はパソコンには断然弱いのですが、触っているうちに慣れてくるし、短時間で多くの情報を集めることができるインターネットは便利だと思います。幸いにも、関西大学にはITセンターなどインターネットが利用できる設備が整っています。自宅でインターネットが利用できなくても大学で利用できるので、新入生の皆さんもどんどんインターネットを活用し、充実した大学生活を送って下さい。

法学部法律学科 3年次生　戸田　麻紀

私のネット活用

就職活動にも大活躍。有効利用しよう

■3つのネット活用法

私は、大学生になるまでほとんどパソコンに触れたことがありませんでした。しかし、授業をきっかけとして、今ではネットを利用しない日はないという程、私の生活に密着したツールとなっています。

私の主な活用法は、3つあります。1つ目は、授業中を含め、課題をするときの情報源として。2つ目は、就職活動の強い味方として。3つ目は、「知りたい！」という気持ちに期待以上の情報を提供してくれる、生活の大百科として。中でも学習面と就職活動での活用法について、詳しく書きたいと思います。

まず学習面での活用法ですが、私は図書館司書の資格関連の授業を多く受講しているので、「図書館蔵書検索システム」（KOALA）は本当によく利用します。関大の総合図書館に所蔵されている図書及び資料の検索ができるのはもちろんのこと、他にも図書の検索エンジンを利用すれば、様々なデータベースを基に、世界各地の出版物について検索することができます。また、青空文庫など、電子図書を利用すれば、著作権などの制限があるとはいえども、数多くの作品をネット上で読むことができます。

次に就職活動中のネット活用ですが、これはもう、いわば戦友ともいえる関係です。「就職難」などと言われ、就職活動は“企業に選ばれること”と思う人も多いのではないでしょうか。それは間違いではないけれど、本当は、“選び、選ばれること”だと思います。そのためには、各業界の有名企業だけでなく、名は知られずとも相性がいい会社を探してこなければなりません。そこで大活躍してくれるのが、就職支援サイトです。また、業界研究、企業研究をするにあたって、主力の働きをしてくれるのが、各種ホームページです。

このように、いつでもどこでも最新の情報を入手できるインターネットの活用法は、際限がありません。うまく情報を取捨選択しながら、これからも大いに有効利用していこうと考えています。

文学部 4年次生　浦上　祐希

私のネット活用

個人で発信の時代へ突入

■weblogの利用方法と紹介

近年、インターネット技術の発展につれてインターネットの利用方法も随分変化しています。単に情報を収集したり、友達とメールをやり取りすることだけでなく、自ら情報発信したり、夢を実現するための手段として、インターネットを利用する人も増える一方です。

ネットを有効活用するために私のインターネット活用術を紹介させていただきたいと思います。最近、ウェブログ（weblog）という新しいホームページのスタイルが注目を集めています。このウェブログとはいったいどういうものなのでしょうか？　ウェブログという単語が流行し始めたのが去年の中ごろ。それを境に各企業は、こぞって次世代のホームページの形だと言います。つまり簡単に言えば、「ホームページ作成ソフトウエアを使用しなくとも簡単にホームページを作成できるということです。また、書き上げたテキストにユーザーがコメントを付けられるという点も特徴と言えるかもしれません。

誤解を恐れずにいえば「米国発の日記型のホームページ」なのです。

しかし、ただの「ウェブ日記」と違うのは、自分がウェブで見つけた面白いニュースや気になる意見などへのリンクを張り、そこに自分の意見を加えていくというスタイルの記事が多いことです。さらにその意見に対して読者がコメントを書き込んだり、他のウェブログから別の意見をトラックバックすることで、ウェブ上でのコミュニケーションが広がっていく仕組みになっています。

それは従来のものよりもっと個性的なスタイルであり、インターネット上での新しいコミュニケーション方式だといえます。新しいウェブのコミュニティー技術によってさらに従来の日記ツールよりも数段強力な作成ツールや、新しいウェブ技術が積極的になります。恐らくこれからのサイトのスタイルはweblogの形が主流となるでしょう。そして個人導入によって、ホームページの作り方や運営などを根本から変えてしまいます。そして個人領域が増えるにつれて最新のニュースや研究資料などが入手できるだけではなく、インターネット上で一国一城の主となる時代が到来したのではないかと思っています。

そこでは一人一人は一つ一つの情報庫だと考えられます。情報庫は自ら情報を発信したり、情報を収集するのです。そしてインターネット上で無数の情報庫と認識され、その間でコミュニケーションを取り合います。サイトの役割は無数の情報庫が集まって、そのコミュニケーションの場を提供することです。そう考えるとweblogは従来のポータルサイトに大きな影響を与えるはずだと思います。

総合情報学部 4年次生　承　文

私のネット活用

上手く活用し、視野を広げよう

■携帯でWeb開設

皆さんは普段どのように情報を集めていますか？　新入生の方は大学進学の情報収集でインターネットを利用された方も多いと思います。

私も関西大学進学にあたり、インターネットを活用しました。このとき遠い場所から、情報を集めるには、とても便利だと思いました。最近の私のネット活用方法には、日ごろ生活していて気になったことや、講義で出てきた用語を検索することから、お店の場所や閉店時間、商品まで何でも調べています。

大学に入ってからは、たくさんの人に出会って、いろいろな考え方を持つ人と接することが多くなり、自分の興味や関心も増え、その分ネットで調べる機会が多くなりました。

最近は、新聞や広告、イベントなどを告知するビラなどにもURLが載せられていて、団体の活動などを知ることができますし、匿名掲示板の「2ちゃんねる」も専門的で高度な内容が載せられているようです。インタ

ーネットからは辞書とは違い、リアルタイムでの情報が手に入ります。ネットを通して情報を収集することで、自分以外の考え方にも触れることができ、視野が広がったと思います。

情報配信としては、携帯からHPを開設して趣味で撮っている画像を貼り付け、マスコットの旅日記を作っています。携帯のHPは簡単に作ることができ便利です。PCのHPはまだ工事中ですが、ゆくゆくは部活の活動などを紹介しようと思っています。

携帯はPCに比べ手軽です。私の所属している第2部写真部では、メーリングリストに登録して、部会の日程調整や、連絡を部員全員に配信されるようにしています。他には、携帯へ配信されるメールマガジンを登録して、電車の中や待ち時間に趣味や資格取得に役立つ情報を得ています。

インターネットを通して得られる情報はたくさんあります。私のネット活用術はまだまだ一部に過ぎないと思います。うまく活用して存分に遊び、空いた時間で知識を吸収して、充実した大学生活をおくりたいと思っています。みなさんも自分なりのネット活用術を見つけてみてください。

第2部経済学部3年次生　香取　彩可

私のネット活用

みんなで作成、愛されるHPとして成長

「関大まる見え」のURL
http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/%7Esuginoa/marumie/index.html

■「関大まる見え」

「関大まる見え」というホームページは、関西大学社会学部社会学専攻の「専門演習」の授業で実験的サイトとして学生主体で作成したものです。どのようなコンテンツが今後支持されていくのか、また関大コミュニティという意識の存在の調査が目的でした。

各班に分かれて、自分たちでコンテンツの内容や方向性を決めていく上で、ネットの特性をどう生かすのか、また視聴者をどこまで惹きつけるかという点を考えるのに大変苦労しました。

はじめのころは、まだネットに関する知識もなければサイトを作る技術も乏しかったです。だからこそ、みんなで力をあわせてコンテンツ作りに励みました。学内で宣伝活動も行いました。チラシ配りに加えて、パソコンを用いて実際に外で学生に声を掛け、ホームページを見てもらったりもしました。

私たちの「関大まる見え」への愛着が湧いてきたのと比例して、少しずつではありましたが、視聴者も増えていきました。アンケートや掲示板にも書き込みが増え、私たちのやる気を刺激しました。中には、批判的な声やダメ出しもありましたが、皆で真摯に受け止め、失敗から学んだことをまた活動に生かしていくことで、私たちも「関大まる見え」も成長していきました。

こうして活動していくうちに、一つのサイト上で形成されるコミュニティを作り手として感じられる面白さが分かってきました。同時に、そのネットコミュニティに集まる人たちの注目や期待も感じ取れるようになっていきました。ほどよいプレッシャーを感じながら、また苦労や失敗も学びの喜びに変えながら、私たちはゼミ活動が始まってから1年間、「関大まる見え」を作り上げてきました。

サイトの更新はもう終わりましたが、私たちの大きな成長の場となった「関大まる見え」を是非見て頂けたらうれしいです。

社会学部 4年次生　粕張　美香

Interview　正しい情報の見極めを。楽しいITライフを始めましょう

ネット・コミュニケーションに詳しい
岡田　朋之
総合情報学部助教授

――ほんとうにいろんなネットとのかかわり方があるものですね。

「ええ、ウェブを使う場合、ほとんどの学生は情報検索が一番多いと思いますが、その使い方一つでも、いろいろあるようですね」

――でも、最近は安易にネットの情報に頼りすぎてしまう面もあるような気がします。課題のリポートを書くときに、どこかのHPに載っている文章のコピー&ペーストで済ませてしまったという話も聞きます。それにネットの情報は信用していいかどうかはっきりしないことも多いです。

「ええ、だから信頼していい情報源は何かということを見極める必要があるわけです。まず、リポートや論文の場合には、執筆者の署名や記事のタイトル、あるいは発信元などが明記されていないサイトの情報を参照するのはあまりよくないでしょう。本や雑誌を参照するとき、版元が書かれていないようなあやしいものを使っていいと思いますか？」

――なるほど。

「あと、本当に重要な情報はネットだけでは見つからないことが多いということも事実です。その場合ネットの情報は、その中以外の、書籍や雑誌や報告書などの印刷媒体を探し出したり、人物に直接聞き取りをしたりする際の手がかりになるというわけです。図書館の書誌情報なんかはその例です」

――自分で積極的に発信しようとする人も増えていますね。そこまでいかなくても、掲示板で気軽に書き込んだりする機会はけっこうありますし。でもそこでトラブルに遭うという話もよく耳にします。

「そうですね。ネット上のやりとりはいろんな面で気をつけなければならないことは少なくないですから」

――それは、「情報リテラシー」を身につけなければならない、ということでしょうか？

「そのとおりです。『情報リテラシー』というのは、ただパソコンやインターネットについての知識や技能を身につけるというだけの話ではありません。情報を受け取る場合には、そこで得られる情報はどこまで信頼できるのか、どのような立場で出された情報なのか、といった問題があります。また自分から書き込んだり、サイトを立ち上げたりする場合には、どのように表現すればより理解してもらえるのか、あるいは、何らかの迷惑や不快感を与えたりするものなど、不適切なところはないのかどうか、といったことに最大限注意を払わなければなりません」

――ネットで接する相手も生身の人間なわけですからね。

「そのイマジネーションを忘れてはいけませんね。それに、画面に向かっているだけでできることはやはり限られています。今回紹介されている例でいえば、お芝居にしても、ベンチャーにしても、ネットはひとつのキッカケにすぎないとも言えるわけで、リアルな生活の世界へいかにフィードバックしてくるかが一番大切なのではないでしょうか。でも、ネットによってこれまでなら難しそうに見えたハードルも確実に低くなっていますから、それに向かってチャレンジする心意気を持って欲しいですね」

新入生歓迎 特別行事

副学長　小幡　斉

入学おめでとうございます。これからの新しいキャンパスライフを前に、勉学への夢、サークルやクラブ活動への夢に心おどらせておられることでしょう。

関西大学では皆さんが今後４年間の大切な時間を充実して過ごせるように、様々なサポート体制を整えていますが、まず、新学年の始まりに当たってオリエンテーション期間を設け、学部ごとの案内と各種行事を行っています。

本学では人権問題の重要性を認識し、かねてからその教育、研究に全学をあげて取り組んできました。そこで関西大学で学ぶことになった皆さんにも、その認識を共有することを願い、「新入生歓迎特別行事」として、人権をテーマとした講演会や映画会を催しています。本年はここに紹介するような内容の催しを行うことになりました。積極的に参加し、関大生としてのアイデンティティーを共有して、有意義な学園生活のスタートを切ってください。

法学部　安全と市民的自由

私たちは自らの安全を守ろうとするために、何であれば犠牲にすることが許されるのだろうか。九・一一事件後のアメリカ社会、チェチェン問題を抱えるロシアをはじめ、日常生活の中に「敵」が潜んでいると想定する場合、これまで大切にしてきた価値を損なわないままでその危険に対処することは難しい。

アメリカ社会をみても、危機にあっては政府権限が強大化され、逆に市民的自由が制限されてきた。九・一一直後にも「パトリオット法」という反テロ法が成立し、政府が個人の生活に入り込む自由が大幅に認められている。中でも問題なのは、こうした政府権限の行使が、アメリカにとって「他者」だと思われる特定の人びとに集中している点である。

人権の侵害とは、自分自身がその対象となるまでは、その重大さに気づかず、見過ごされがちである。全体の安全を守るために、特定の人びとの人権であれば犠牲にできるという姿勢そのものが、問い直されなくてはならない。

【日時】四月二日（金）午後一時から
【場所】第一学舎Ａ200教室
【講師】法学部教授　大津留智恵子氏

文学部　男女共同参画社会実現に向けての豊かな生き方

今回講師に招く辛淑玉さんは、人材能力育成プログラム開発、育成環境開発の仕事のかたわら、人権問題についての講演、新聞、雑誌での記事連載、テレビ、ラジオでのコメンテーターなど、幅広く活躍している（『不愉快な男たち』講談社刊、『女が会社で』マガジンハウス刊、『日本人対朝鮮人』光文社刊などの著書がある）。

男女の雇用の機会均等、差別や格差の撤廃、男女の対等で豊かな関係の確立などが当たり前のことになるような男女共同参画社会の実現は、日本社会のこれからの発展にとってきわめて重要な課題となっている。この課題を、私たち一人ひとりが自分自身の生き方の問題としてどのように受け止め、どのように向き合ったらいいのか、そのためにどのような役割を果たせばいいのか、その中で自分自身と社会をどのように豊かにしていけばいいのかという点について、ヒントになるような話を頂戴する予定である。文学部の新入生のみなさんはふるって参加してください。

【日時】四月二日（金）午前十時から
【場所】第一学舎Ａ100教室
【講師】辛淑玉（シン スゴ）さん

経済学部　イラク戦争と日本のマスコミ報道

経済学部では、激動する内外情勢のなか、今もっともホットな話題であるイラク問題を題材として取り上げる。

講演者の野中氏は一九五三年兵庫県生まれで、一九八七年にアジアのジャーナリストのネットワークである「アジアプレス・インターナショナル」を設立、現在その代表をつとめる。カンボジア紛争、東ティモール独立闘争、エチオピアの飢餓、ソマリア難民など、おもにアジア、アフリカを取材し、新聞、雑誌、テレビなどで発表している。

最近はビデオ・ジャーナリズム（ＶＪ）の手法による作品を発表することが多い。編・著書に『沈黙と微笑』（創樹社）、『ビデオジャーナリズム入門』（はる書房）、『メディアが変えるアジア』（岩波ブックレット）などがある。

ますます混迷の度合いを深めるイラク情勢とその報道のあり方を、現場のジャーナリストの目から鋭く分析してくださると思う。

【日時】四月二日（金）午前十一時から
【場所】第一学舎Ｃ301教室
【講師】ジャーナリスト　野中章弘氏

商学部　生きる力を育てる　大切な私を育てること ―暴力的な世界から守られるために―

商学部では近年とくに社会的な関心を集めている問題である虐待事件について講演会を行う。講師は長年この問題に関わってきた流通科学大学の加藤曜子氏である。

この一月に報道された岸和田の中学校三年生の虐待事件について一様に皆さんは「中学生なのに、なぜ逃げられなかったのだろうか」という疑問がでてきたのではないか。

暴力を受け続けると、人はいったいどういった状態になるのか、ならされるか、またそれはなぜか、生きることを阻む要因にはいったいどういったメカニズムが働いているのか。

本来、生きることは、より自分らしく、幸せに暮らせることであり、そのために私たちは、どういったことを心がける必要があるのか考えることにしたい。

社会生活の基本学位である家庭内の難問に立ち向うことこそ、よりよい未来、明るい社会を生み出す跳躍台となるものと思われる。

【日時】四月二日（金）午後三時から
【場所】第二学舎三号館Ｅ201・Ｅ301教室
【講師】流通科学大学教授　加藤曜子氏

社会学部　手話落語と私　ジャーナリズムと人権

社会学部では、二つの歓迎行事を開催する。ひとつは、産業心理学、社会システムデザイン専攻、フレックスコースの新入生への、桂福團治さんによる講演と「手話落語」の実演である。桂福團治さんは関西演芸協会長、上方落語協会理事の要職にあり、日本手話落語協会長として手話落語の普及につとめている。手話落語の現在に至るプロセスでの苦心談が中心となる。この行事を機に障害のある人への理解が強まることを期待する。

もうひとつの行事は、社会学、マスコミ専攻の新入生への、烏越俊太郎教授による講演である。皆さんはいずれ講義等をきくことになるが、この講演では「ジャーナリズムと人権」を基調に、具体的な事実を紹介しながら、マスコミの世界を語ってもらう。マスコミにたいする新しい視点が生まれればと思う。

【日時】四月一日（木）入学式終了後
【会場】第三学舎　ソシオＡＶ大ホール、および101教室
【講師】落語家　桂　福團治氏（ソシオＡＶ大ホール）
社会学部教授　烏越　俊太郎氏（101教室）

総情類部　個人情報の保護

「個人情報」の適正な取扱方法を理解することは、情報化社会を生きる者にとって最低限の常識となりつつある。会員証を作成するときに、安易に学生証などの身分証をコピーさせていないだろうか。インターネットで買い物をするときに、不必要な個人情報をみだりに提供していることはないか。大学生活でクレジットカードを使う機会があっても、暗号化されていないサイトでカード番号を入力したり、出会い系サイトに詳細な個人情報を登録するなどもってのほかである。

社会生活を送るためには、必然的に個人情報を一定の範囲で人に知らせなければならない。しかし、どの程度の個人情報を知らせてよいのか、その感覚は人によって異なる。個人情報の保護がなぜ重要な問題となっているのか。新たに制定された個人情報保護法とはどのような法律なのか。この問題が他人事ではないことを、大学生活を始めるにあたっての最初の一歩として理解してもらえることを期待する。

【日時】四月二日(金)午後一時から
【場所】高槻キャンパス情報メディアホール
【講師】筑波大学助教授　新保史生氏

工学部　発想するちから

安藤忠雄さんは、建築を独学で学び、東京大学大学院教授として教鞭をとり、今は東大名誉教授で、文化功労者でもある。受賞歴では、日本に限らず、世界の名誉ある賞を総なめしている。もし、ノーベル賞に建築部門があれば、既に受賞しているにちがいない。安藤さんは大阪生まれの大阪育ち。会ってみれば、ごく普通の大阪のおじさんである。

安藤さんは二十歳代に、世界を旅してまわり、その中で多くを学び、今なお、その体験を発想の源にしている。新入生の皆さんは、受験勉強のために、これまで多くの問題に当たって正解を得る訓練をしてきた。しかし、実はそれは問題と言えるものではない。問題というのは、解答が見つからないから問題なのであり、また、何が問題かわからないから問題なのである。安藤さんの言葉に耳を傾けてみたいと思う。

【日時】四月一日（木）入学式終了後
【場所】千里山中央体育館
【講師】建築家・東京大学名誉教授　安藤忠雄氏

フレックスコース　インド洋の小さな島から世界を見る ―現代の国際関係と人権―

二〇〇一年九月十一日の同時テロ攻撃以降、アメリカが対テロ戦争を開始した。アフガン戦争に続いて人々の目は、イラク戦争と新生イラク国家の建設過程に向けられている。日本も復興支援に自衛隊を派遣するなど、小さくない役割を演じている。ところが、アメリカ軍のイラク攻撃がどこから行われたのかを知る人はいない。

かつてインド洋のイギリス植民地であったチャゴス諸島に「王冠の宝石」と呼ばれたディエゴ・ガルシア島がある。この島こそイラク攻撃で重大な役割を演じたアメリカ軍基地の所在地なのである。イギリスは、一九六五年、この島を無人島として秘密裏に軍事基地建設のためにアメリカに譲り渡した。しかし、その時イロワ人たちはモーリシャスやセイシェルに強制移住させられたのである。

この講演では国際関係の構造的暴力の中でまったく人権を無視され、歴史からかき消されようとしてきた人びとの立場を考えながら、現代の国際関係に生じている問題について理解を深めたい。

【日時】四月二日（金）午後七時から
【場所】第二学舎Ａ501教室
【講師】経済学部教授　北川勝彦氏

リードセンターNews

extension reed center

可能性を広げるため　ぜひ活用を

現代社会は個人の能力と実力が厳しく問われる時代です。新入生の皆さんは、これからの大学生活の中で将来飛躍するための知識や技術を習得することに、強い意欲と期待を持っていることでしょう。

エクステンション・リードセンターでは、一年次生から専門的な資格取得や国家試験合格の実力を養成するため、十四講座を開いています。卒業後の可能性を最大限に広げるため、ぜひ活用してください。

公務員への第一歩

国家公務員Ⅰ種を目指す人は一年次生から「公務員講座　入門講座」の受講を勧めます。現役で国家公務員Ⅰ種試験に合格するための基礎学力を養うことができます。

英語講座で目標別のコースを設定

「英語講座」には、ＴＯＥＩＣ・ＴＯＥＦＬ®テスト対策の各コースに、それぞれ三段階の目標別クラスを設けています。

レベル目的に応じた情報処理講座

「情報処理講座」では、初心者のためのパソコン検定４級コースから中級向けのパソコン検定３級、ＥｘｃｅｌやＷｏｒｄなど、各種ソフトを使いこなす多彩なコースを開講しています。また、マイクロソフト　オフィス　スペシャリスト、ＣＧ検定３級やシステムアドミニストレータ、基本情報技術者などの試験対策コースも開いています。

法律家養成講座では四種類の系統的なコース

「法律家養成講座」では、司法試験受験や法科大学院（ロースクール）をめざす人のために、早くから司法試験の実践的手法を取り入れた段階的な講座を開いています。特に基礎コースでは、法律家に必要な法律学全体の基礎知識の習得をめざします。

公認会計士・税理士合格を目指す

公認会計士や税理士をめざす人のために、簿記の習得レベルに応じて段階的に学習できる「簿記検定」と「公認会計士入門」、「税理士」の三講座を開講しています。

「税理士講座」では必須科目の簿記論と財務諸表論の科目合格をめざし学習します。

高い合格率を誇る各種資格試験対策講座

「宅地建物取引主任者」「一般旅行業務取扱主任者」「通関士」などの資格試験対策講座は、毎年高い合格率を記録しています。また「社会保険労務士」「ファイナンシャル・プランナー（ＡＦＰ＋２級ＦＰ技能士）」「色彩検定講座」などの講座も開講しています。学生のうちに職業的資格を取得すれば、卒業後の進路選択に大いに役立ちます。

マスコミ志望者にも万全の支援

「マスコミ試験対策講座」では、放送、出版・広告、新聞の業界別クラスを展開し、皆さんのマスコミ就職準備に備え万全の支援をしています。

いま、受講申込受付中

現在、リードセンター千里山キャンパス事務室（社会学部学舎内）、高槻キャンパス事務室、リードセンター事務室（天六キャンパス）では随時受講申込を受け付けています。

また、四月一日（木）のみ、新関西大学会館南棟一階インフォメーションロビーでも受講申込の受付を行います。

詳細は講座案内（パンフレット）を参照してください。

問い合わせはリードセンター事務室へ
フリーダイヤル 0120・368・150

開設10周年記念企画展
「関西大学博物館の名品」
4月5日～5月15日

幅広い収集資料を公開

関西大学博物館は、平成十六年四月に開設十周年を迎える。その開設以来、考古学や歴史学はもとより、美術史・工芸史などの各分野で、新しい資料の収集を続けてきた。関西大学博物館の収蔵資料が、本学の教育、研究活動に貢献できるよう、中国陶磁や日本の具足、甲冑、衣装などにおいて、あらたな蓄積も行っている。

今回の企画展は、特に関西大学博物館所蔵の「名品」を展示公開する。関西大学博物館は、考古学的な分野で多くの重要文化財指定資料を展示してきたが、今回は考古学関係の指定文化財だけでなく、幅広い収集資料の「名品」を披露する。

茶繻子地垣に秋草雁紋様染繻振袖

記念講演会
「関西大学博物館、考古学資料について」
本学名誉教授　網干善教
日時：五月八日（土）午後二時から
会場：千里山キャンパス大学院棟「尚文館」マルチメディアAV大教室
聴講無料（会場準備のため事前に申し込んでください。）
参加申し込みは、関西大学博物館事務室まで（TEL06-6368-1171、E-mail：hakubutsukan@jm.kansai-u.ac.jp）

記念
平成十六年度企画展
「関西大学博物館の名品」
関西大学博物館開設十周年
期間：四月五日（月）～五月十五日（土）月曜日から土曜日開館（日曜・祝日閉館）午前十時～午後四時
入館：無料
場所：関西大学博物館
千里山キャンパス簡文館

阪急千里線　関大前下車　徒歩七分

新入生はご用心！
キャッチセールス、マルチ商法

昨今、大学生を含む二十歳以下の若年層において消費者取引に関するトラブルが増加しています。この状況は当然関大生にとっても無縁ではありません。キャッチセールスやマルチ商法、また最近では携帯電話の不当請求などの相談も増えていますが、「だまされた」「身に覚えがない」「契約を解除したい」と思った時には、一定要件の下で消費者が業者との間で締結した契約を一方的に解除できる「クーリング・オフ制度」や、二十歳未満の未成年者が契約する場合の「未成年者の契約の取消」などの制度があります。

万一被害にあったときは、ただちに学生生活課・高槻キャンパス事務室または最寄りの消費者センターに連絡、相談してください。

（吹田市立消費者センター：06-6319-1000・高槻市立消費者センター：072-682-0999）

（学生部）

オリエンテーション実行委員会があなたの相談役

入学したての新入生の皆さんには、「大学にはどんなクラブやサークルがあるのだろう」、「この教室ってどこにあるのだろう」など、わからないことがたくさんあると思います。そのような時には、オリエンテーション実行委員会のメンバーに相談してみてください。

オリエンテーション実行委員会のメンバーは、「黒地に龍」のスタッフジャンパーを着て、図書館前のテントにいます（4／1～4／5）。

（学生部）

図書館の森

春季特別展
「ローマ法の展開」
法学部教授　岡　徹

古代ローマ帝国の法律学は、非常に高い水準に到達した。特にアウグストゥス帝の頃より後の約二世紀半が隆盛時代で、古典期と称する。西ローマ帝国滅亡後の六世紀、東ローマ帝国皇帝ユースティーニアーヌスは、過去の法律学の成果を用いて法典編纂を行った。

十一世紀イタリアのボローニヤに注釈学派が出現した。ユ帝法典に注釈を付けるという方法を用いるのである。始祖のイルネリウス以降、四博士（ブルガルス、マルティヌス、ヤコブ、フーゴー）、プラケンティヌス、アゾ、アックルシウスが著名である。ボローニヤにはヨーロッパ各地より学生が学びに来ており、その数は一万人とも言われている。

十三世紀後半には、注釈学派の研究を基礎としつつも、イタリア諸都市の文化的経済的発展を背景に、実務的法律学を展開する助言学派が主流となり、キヌス、バルトルス、バルドゥスなどが、現実の法的問題に助言を与えた。

十五世紀には、一転してユ帝法典を歴史的科学的に研究するユマニスム法学が出現し、アルキアトゥス（伊）、ブダエウス（仏）、ツァジウス（独）が三羽鳥と呼ばれるが、十六世紀フランスでさらに発展し、クヤキウス、ドネッルス、ゴトフレドゥスらが活躍した。しかし、この時期のフランスにおける宗教戦争の結果、法律家たちがオランダなどの外国へと逃れたため、ローマ法の影響を全面的に否定することはできない――法律学の基礎をなすことになったのである。

十九世紀ドイツにおいて、歴史法学派――ローマ法を重視するロマニステンとゲルマン法を重視するゲルマニステンがある――が出現した。ロマニステンのサヴィニーは、若き日、中世ローマ法学を実証的に研究して『中世におけるローマ法の歴史』を著し、のち、古代ローマ法を基礎とする現行法解釈学の体系書である『現代ローマ法体系』を発表した。サヴィニーの弟子たち、特にヴィントシャイトによって、ローマ法に基礎を置くドイツ民法典第一草案が作成されたが、日本民法典は、この第一草案に大きな影響を受けて成立しており――ゲルマニステンの批判により有草案が修正されて出来上がったドイツ民法典よりはるかに――ローマ法的である。

なお、稀覯本の中から選んで展示される各書物の説明は、展観目録を参照されたい。

テーマ：ローマ法の展開
期間：四月一日（木）～五月五日（祝）
場所：関西大学総合図書館一階展示室
開館時間：十時～閉館一時間前

経済・政治研究所
第155回公開講座

五月十二日（水）午後一時～二時半　第二学舎一号館三階A307教室

テーマ：在阪貿易業者の契約条件分析
講師：吉田友之（経済・政治研究所主幹　商学部教授）

学生諸団体の行事予定

▶弓道部
新入戦
3／28（日）～4／25（日）　会場未定
記録会（男子百射・女子四十射）
5／5日(祝)　関西大学
▶軟式野球部
関西六大学　準硬式野球春季リーグ
4／1・2、6・7、13・14、21・22
西京極球場、住之江球場、豊中ローズ球場
▶アーチェリー部
男子第44回　女子第39回　関西学生アーチェリーリーグ戦
4／4（日）～5／3（祝）
各大学アーチェリー場
▶ソフトボール部
第36回関西学生ソフトボール春季リーグ
4／4日（日）～5／9（日）
万博記念公園スポーツ広場
慶関定期戦
5／8（土）・9（日）　慶応義塾大学
▶器械体操部
第45回関西学生体操選手権大会
4／17（土）・18（日）　なみはやドーム
▶射撃部
第2回関西オープンライフル射撃競技選手権大会
4／17（土）・18（日）
大阪府能勢町ライフル射撃場
第51回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会　及び
第10回春季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会
5／13（木）～15（土）
大阪府能勢町ライフル射撃場
▶バスケットボール女子
全関西選手権大会
4／24（土）～5／5（祝）　会場未定
▶ワンダーフォーゲル部
新入生歓迎合宿
4／24（土）・25（日）　氷ノ山
▶アイスホッケー部
O2カップ
対戦校　立命館、同志社、関学、龍谷等
5／10（月）～30（日）21：00～
O2スケートリンク
▶レスリング部
西日本学生レスリング春季リーグ
5月中旬　会場未定

応援に行こう！

野球部、サッカー部は今シーズン絶好調で、優勝争いに加わること必至です。多くの仲間と誘い合わせて応援に行こう。

▶野球部◀

日程	時間	対戦	場所
4月3日(日)	13：30	立命館大	西京極球場
4月4日(日)	11：00	立命館大	西京極球場
17日(土)	13：30	京都大	西京極球場
18日(日)	11：00	京都大	西京極球場
5月3日(祝)	12：30	関学大	甲子園球場
5月4日(祝)	12：30	関学大	甲子園球場
8日(土)	11：00	同志社大	皇子山球場
9日(日)	13：30	同志社大	皇子山球場
15日(土)	10：00	近畿大	南港中央球場
16日(日)	12：30	近畿大	南港中央球場

▶サッカー部◀

日程	時間	対戦	場所
4月11日(日)	12：00	大阪学院大	鶴見緑地球技場
4月17日(土)	14：15	桃山学院大	舞洲運動広場（球技場）
18日(日)	14：15	近畿大	しあわせの村運動公園陸上競技場
24日(土)	14：15	甲南大	舞洲運動広場（球技場）
29日(祝)	14：15	立命館大	長居第2陸上競技場
5月2日(日)	12：00	関学大	神戸総合運動公園ユニバー記念球技場
5月5日(祝)	12：00	大阪体育大	長居第2陸上競技場
9日(日)	12：00	大阪産業大	県立淡路佐野運動公園（第2G）
16日(日)	14：15	阪南大	高槻市立総合スポーツセンター

平成16年度 インフォメーションテクノロジーセンター（ITセンター）が開催する講習スケジュール

ITセンターでは、パソコン・コンピュータ利用およびマルチメディア施設利用について、今年度、左記のような日程で各種の講習を開催します。ITセンター受付（TEL06-6368-1172、内線4448）で開催日の一カ月前から受付けています。

受講の申し込み・問い合わせは、IT社会を生き抜くためのコンピュータ&メディアリテラシーのスキルアップにぜひ役立ててください。講習は、すべて無料です。

講習名	開催月日・時限	定員	対象	講習概要
●パソコン関連の講習(基本コース、活用コースを受講する方は、受講日の前日までに「電子メール・学外web利用申請書」で利用登録をしてください。初心者コースでは講習の中で利用登録をしてください。)				
パソコン初心者コース	4／8(木)2限、4／12(月)3限、4／15(木)4限、4／21(水)2限、4／26(月)3限、5／11(火)3限、5／26(水)3限、6／10(木)2限、9／22(水)2限　(計9回開催)	各30人	学部生、院生、教員	ITセンターでの基本的なパソコン利用法や操作法。「電子メール・学外web利用申請」をする際に必要な情報リテラシーやパスワードなどの知識について解説・実習します。
パソコン基本コース	4／9(金)2限、4／13(火)3限、4／16(金)4限、4／22(木)2限、4／27(火)3限、5／14(金)3限、5／28(金)3限、6／14(月)2限、9／24(金)2限　(計9回開催)	各30人	学部生、院生、教員	ITセンターで電子メールやホームページを利用するための操作法などを解説・実習します。
パソコン活用コース	4／20(火)2限、4／30(金)2限、5／8(土)2限、5／18(火)2限、6／2(水)2限、6／17(木)2限、9／29(水)2限　(計7回開催)	各30人	学部生、院生、教員	電子メールやホームページをより有効に活用するための操作法などを解説・実習します。
●サーバ、ネットワーク関連の講習				
授業での教育用Webサーバ利用	4／5（月）2限	30人	教員	授業利用におけるWebサーバ（ホームページ作成）の利用方法
持込パソコンLAN利用	4／27（火）4限、5／14（金）4限	各30人	学部生、院生、教員	ITセンター等で個人のノートパソコンやPDAを情報コンセント、無線LANに接続して利用する方法を解説します。
研究室ネットワーク接続	5／12（水）2限、5／27（木）2限	各30人	教員、院生	学内ネットワークの利用方法
Windowsサーバ管理	5／19（水）2限	30人	教員、院生	Windowsサーバの各種設定方法、ウィルス対策などの講習。研究室などに設置しているWindowsサーバの管理者向け。
UNIXサーバ管理	6／9（水）2限	30人	教員、院生	UNIXサーバの各種設定方法、ウィルス対策などの講習。研究室などに設置しているUNIXサーバの管理者向け。
高度計算サーバ利用	6／16（水）2限	30人	教員、院生、ゼミ生	スカラー並列計算機を研究利用目的で利用するための入門講習
ネットワークセキュリティ	6／23（水）2限	30人	教員、院生、ゼミ生	ITセンターのセキュリティ対策。ネットワーク攻撃の実態。研究室などに設置しているサーバの管理者向け。
●マルチメディア関連の講習				
尚文館1階マルチメディア施設利用	4／7（水）2限、4／23（金）2限	各30人	教員、院生	マルチメディア編集室など尚文館1階マルチメディア施設利用のガイダンス
リッチメディア作成	5／25（火）2限	30人	教員、院生、学部生	Windows Mediaによる教材の作成方法
遠隔授業システム利用	6／3（木）2限	30人	教員、院生	遠隔授業で利用するSCS（スペースコラボレーションシステム）やビデオ会議システムの活用ガイダンス（含実習）
ノンリニアビデオ編集システム利用	※随時受付（火～金）	5人	院生、教員	パソコンを使って行う基本的なビデオ編集の方法
リニアビデオ編集システム利用	※随時受付（火～金）	5人	院生、教員	VTRを使って行う基本的なビデオ編集の方法
デジタル工房利用	※随時受付（火～金）	5人	院生、教員	各種のデジタルコンテンツの作成方法
ビデオ撮影システム利用	※随時受付（火～金）	5人	院生、教員	スタジオでの基本的なビデオ撮影の方法

●講習の詳細については、ITセンターホームページ　http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/に掲載しています。●ITセンターが管理・運用するパソコンで利用できる電子メールは、センター特有の「Web メール(Active! Mail)」です。●複数回開催する講習の内容は、すべて同一のものです。都合のよい時間に申し込んでください。●Office2000(Word、Excel、PowerPoint、Access)のビデオ教材を学内のパソコンで閲覧して自習することができます(VODサーバ)。ITセンターホームページからアクセスできます。●※印の講習日時は申し込み時に調整します。
●上記スケジュール以外にも講習を開催することがあります。その場合はホームページでご案内します。

関大通信 第316号
平成16年(2004年)４月１日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は５月14日発行の予定です

関大近郊おすすめスポット

企画・文・撮影
広告研究部

● 須磨海釣り公園 ――――――ぼーっと、海釣り

絶好のロケーションと日本一の規模を誇る神戸市立須磨海釣り公園では、釣り道具の貸し出しもしているため、誰でもすぐに本格的な釣りが楽しめる。釣った魚は持ち帰ることができ、大物を釣れば入場無料券をもらえちゃうなんていうサービスも、釣り大会などのイベント時には行われている。４月にはまだ水温が低いため、海釣りにはあまり適さないが、ＧＷ以降は水温も上がって魚も釣れやすくなるので、天気のいい日にはちょっと須磨まで足を伸ばし、潮の香りに包まれてぼーっと当たりを待つ…なんていうのはいかが。

神戸市須磨区一の谷町5丁目地先
☎078・735・2907

● 宝塚ガーデンフィールズ ――都会の隠れ家

宝塚ファミリーランドの跡地に、〝癒し、憩い〟をテーマにし、昔からの池、地形、樹木を生かすというかたちで誕生したのが、宝塚ガーデンフィールズである。園内には、ペットパークやペットショップ、英国式ナチュラル庭園などがある。おススメは、犬と遊べるペットパーク。入場料600円でたくさんの犬たちと触れ合い日頃の喧騒をしばし忘れることができる。３月の下旬にはバラが咲き、いろんな品種のバラと多年草が組み合わされたシークレット・ローズ・ガーデンは１年を通じて楽しめる。カップルのデートコースとして行ってみては…。ガーデンフィールズに行ってのんびりしましょうよ。

宝塚市栄町1・1・57
☎0797・85・6210

● 源気温泉万博おゆば ――――――万博に温泉！？

東北の言葉で、人が集まって話をする場所を〝湯場〟という。なんと、関西大学のある吹田市にもそんな〝湯場〟があるのだ。万博公園内にある源気温泉万博おゆばには毎日おしゃべりを楽しむ人びとが集まる。自慢は何と言っても地下703mからくみ上げられるお湯の美しさ！！　源泉をそのまま使用した露天風呂では星空を見上げながら、日頃の疲れを癒すことができる。さらに、食事スペース、ボディーケアルーム、理髪店もあり、お風呂だけでなく他のサービスも充実している。学校が休みの日曜日は万博公園で遊んでおゆばで汗を流す。これで決まりっ。

吹田市千里万博公園11・11
☎06・6816・2600

● ＪＫcafe ――ジャズ！ジャズ！ジャズ！

阪急高槻市駅のすぐそばにあるこのＪＫ cafeでは、コーヒーの香りと心地よく流れるジャズが優しく私たちを包んでくれる。本場イタリア仕込みのカプチーノをはじめ、午後７時まではほとんどのメニューが300円という驚きの値段となっている。毎晩ジャズライブが行われ、大人のムードも満点である。このお店、今では毎年恒例となっている高槻ジャズストリート（今年は５月３日、４日開催）の中心的存在であり、近年の高槻ジャズブームはここが発端となっている。本場の生のジャズを一度体感してみよう。

高槻市城北町1・2・8
☎072・671・1231

● 祇園小石 ――――――京都に来たらおいでやす

落ち着いた雰囲気の店内で、ゆっくりした時間の流れを感じながら、沖縄産の黒糖で作られたこだわりの黒みつを使ったあんみつやパフェ、わらび餅などを食べることができる。これが「祇園小石」だ。一番の人気メニューは黒糖シフォンパフェ（800円）で、手間暇がかけられており、主人の味に対する熱い想いが感じられる。２階は京都をモチーフにした無料のアートギャラリーになっており、舞妓さんの日常生活を描いた漫画や写真を展示している。ここに来れば、祇園が女の町だということを実感できるかもしれない。さらに、月ごとに変わる飴などのおみやげ品も充実している。

京都市東山区祇園町北川286・2
☎075・531・0331

● 心斎橋シネマ・ドゥ ――映画館は空気つきで選ぼう

心斎橋ソニータワー地下１階にあるシネマ・ドゥ。赤と黒で彩られた不思議な空間が今から見る映画への期待感を膨らませてくれる。最新の技術で上映されるのは一癖も二癖もあるアート系の作品。「見知らぬ人と一つの作品を見て感動を共有する、それが映画館なんです」という支配人。みんなでわいわいするのにも、もってこいのペアシートで映画とつきあえる。４月は「エレファント」「レスリー・チャン特集」を上映予定。家でビデオやＤＶＤを見るのもいいけれど、映画館に足を運んで自分だけの一本を見つけてみませんか。

大阪市中央区心斎橋筋1・1・10ソニータワーB1
☎06・6251・3789

● うめだ花月 ――――――大阪人の笑いの源

昨年８月に会社帰りのＯＬやサラリーマンをターゲットにしてオープンしたうめだ花月。毎日なんだかんだと笑いがいっぱい。劇場内では飲食可能なためリラックスして笑いを満喫できる。さらに今年３月には、なんばグランド花月、通称ＮＧＫの地下に昭和30年代の懐かしい街並みの中に笑いの歴史を盛り込んだ吉本笑店街がオープンした。日常から逃れて心の底から笑い、ほんわかする。吉本笑店街は大阪の新しい観光名所となること、うけあいである。このようにどんどんと新展開を見せる吉本興業のパワー、おそろしい……。

大阪市北区曽根崎2・15・20B1F
☎06・6341・4347

●ジュンク堂大阪本店 ――――――最強書店

ゆっくりしたい人に好評な喫茶併設型書店の元祖、ジュンク堂。梅田のオフィス街と繁華街の間にそびえる堂島の大阪本店には、およそ100万冊もの書籍があり、品揃えは豊富である。書籍をたくさん購入すると店内の喫茶コーナーで使えるクーポン券がもらえるというサービスもうれしいが、最も魅力的なのは、本をじっくり吟味できるよう椅子やテーブルが置かれているという点。店長の岡山さんからは「活字離れする現代、本に親しんでほしい」というメッセージが寄せられた。広々としたスペースであれこれの本を手に取り、視野を広げてみてはどうだろう。

大阪市北区堂島1・6・20堂島アバンザ1・2・3F
☎06・4799・1090

● なんばパークス ――――――都会のオアシス

繁華街にありながらも季節を感じさせる緑があり、各種イベントで市民参加が特色であるなんばパークスは昨年10月のオープンから３カ月間で790万人もの来場者があった。各ショップが栄える中、来客者に人気の意外なスペースがある。施設内の各所に置かれた椅子（全９種デザイナーズ特注品）だ。特に３・４階のものが人気で、座り心地よし、眺めよし、おまけに自然光が入り、一度座るともう立ち上がれなくなるほどにいいことづくめである。買物をして、食事もして、椅子にも座り、屋上庭園で緑にふれ、心もお腹も満たしてはいかが。

大阪市浪速区難波中2・10・70
☎06・6644・7100

● 大和文華館 ――――――知る人ぞ知る名所

大阪から電車で１時間足らずで行けるところに素敵な美術館がある。それが大和文華館。美術品の美、建築の美、庭園の美と、３つの美を持ち合わせ、「寝覚物語絵巻」をはじめとする国宝４点や重要文化財などを年に８回テーマ別に展示し、美の意識を訪れた人びとに伝えている。館内は、中庭から差し込む優しい光で明るいため、リラックスした気分で鑑賞できる。また、一歩外に出てみると、七福神の梅や三春の滝桜の子孫などといった四季折々の花々が、来館者の目を楽しませる。この春は、自然の美、日本の美を堪能しに、大和文華館に行ってみよう。

奈良市学園南1・116
☎0742・45・0544

▶編集後記◀

新入生の皆さん、入学おめでとう。新しい仲間として教職員一同、心から歓迎します。今は新しい大学生活を迎えてわくわくしておられることと思う。でもしばらくすると、大学は高校と相当違うことに、とまどうこともあるだろう。たとえば、自分の一日の生活の過ごし方は、高校ではかなり決められたものだったのに対して、大学ではどのように過ごしたらよいか誰も教えてくれない。極端な話、全然授業に出なくても怒られたり文句を言われたりしないし、その結果単位が不足して、留年するはめになっても誰も助けてくれない。このように大学では自分の生活は自分で自由に設計できる反面、自らが責任を持って動かない限りなにも進まないことも、心にとどめておいてほしい。

（原　武文）